



USER'S MANUAL

4ポート 10M/100M PCI サーバアダプタ

FXP-4TX

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USER'S MANUAL

4ポート 10M/100M PCI サーバアダプタ

FXP-4TX

本製品を安全にお使いいただくために

⚠ 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



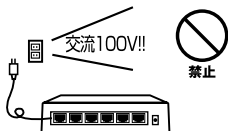
雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



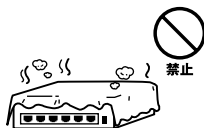
正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



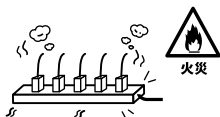
通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



電源コードをつけて移動しないで！

本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



液体・異物は入れないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。
万一異物や液体が入ってしまった場合は、
電源コードをコンセントから外して
弊社サポートセンターまでご連絡ください。



電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する
(かじった部分からショートし発火する危険があります)



設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所



◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

このマニュアルの構成

本マニュアルは以下のような構成になっております。

必ずお読みください

第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

ご使用方法

第2章 ハードウェアのインストール

本製品をコンピュータに取り付ける際の手順およびネットワークへの接続方法について説明します。必ずお読みください。

第3章 Windows NT4.0

本製品をWindows NT4.0で使用するためのドライバインストール・ソフトウェアインストール手順を説明します。

第4章 Windows 2000

本製品をWindows 2000で使用するためのドライバインストール・ソフトウェアインストール手順を説明します。

付録

付録A トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合の対応方法について説明します。

付録B Windows NTのイベントログメッセージ

Windows NTのイベントログに記録されるメッセージについて説明します。

付録C 800Mbps ネットワーク

800Mbps ネットワークの構築例を紹介します。

付録D 仕様

本製品の仕様について説明します。

マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

目次

本製品を安全にお使いいただくために	2
第1章 はじめに	
1.概要	7
2.特長	8
3.対応機種および対応OS	9
4.梱包内容について	9
5.各部の名称	10
6.ロードバランシング&フォルトトレランス機能について	11
第2章 ハードウェア・インストール	
1.コンピュータへの取り付け	13
2.ネットワークへの接続	14
3.ネットワークケーブルについて	15
第3章 Windows NT4.0	
1.Windows NT4.0 ドライバインストール	17
2.インストールの確認	34
3.通信速度の設定	36
4.ドライバの削除	38
5.ロードバランシング&フォルトトレランスソフトウェアのインストール	41
6.ステータスの確認および詳細設定	48
7.ソフトウェアの削除	56
第4章 Windows 2000	
1.Windows 2000 ドライバインストール	59
2.インストールの確認	68
3.通信速度の設定	71
4.IEEE 802.1Q VLANの設定	74
5.IEEE 802.1p プライオリティサービス (Quality of Service) の設定	77
6.ドライバの削除	81
7.ロードバランシング&フォルトトレランスソフトウェアのインストール	86
8.ステータスの確認および詳細設定	91
9.ソフトウェアの削除	96

付録A	トラブルシューティング	99
付録B	Windows NT のイベントログメッセージ	101
付録C	800Mbps ネットワーク	103
付録D	仕様	105
	ユーザー登録について	108
	弊社へのお問い合わせ	109
	質問表	110
	保証規定	112

はじめに

1 概要

本製品は、PC/AT互換機で使用可能なバスマスタ・タイプの32ビット4ポート10M/100M PCIバス・サーバ・アダプタです。IEEE802.3 10BASE-T/IEEE802.3u 100BASE-TX標準およびPCI Rev.2.1に準拠し、ネットワーク上での伝送速度は100/10Mbpsです。ツイストペアケーブル接続用のRJ-45 STPポートを4ポート装備しています。

各ポートはAutonegotiation機能に対応しており、Autonegotiation対応のハブに接続すると転送速度(100/10Mbps)および転送モード(全二重/半二重)を自動認識します。

各ポートともステータスLEDを装備しており、容易にポートのステータスを確認する事が可能です。

本製品は、ロードバランシング&フォルトトレランス機能に対応しています。ロードバランシング機能により、4ポートを同時に使用して最大800Mbpsの転送速度を実現し、サーバスイッチングハブ間の転送速度のボトルネックを解消します。さらに、フォルトトレランス機能により、あるポートで障害が発生した場合でも他のポートで通信を続行するのでネットワークの信頼性を高めることが可能です。

- IEEE802.3 10BASE-T/IEEE802.3u 100BASE-TXに準拠
- 32ビットPCI Rev.2.1バスマスタに対応
- 100BASE-TX/10BASE-T接続用のRJ-45 STPポートを4ポート装備
- Autonegotiation機能によりネットワークの種類を自動検出(100/10Mbps、全二重/半二重)
- Full-Duplex(全二重)機能をサポート、最大200Mbpsのスピードを実現
- 各ポートにステータスを示す、Link/Act・100M・FULL LEDを装備
- ロードバランシング機能により最大800Mbpsでの通信が可能
- 「ロードバランシング&フォルトトレランス」ソフトウェア付属
- IEEE802.1Q VLANに対応(Windows 2000)
- IEEE802.1pプライオリティサービス(QoS)に対応(Windows 2000)

3 対応機種および対応OS

本製品の対応機種および対応OSは以下のようになっています。

対応機種

PCIスロットを装備したPC/AT互換機(DOS/V)

対応OS

Windows 2000 ServerまたはAdvanced Server、Professional Windows NT4.0 ServerまたはWorkstation、「Service Pack6」または、「Service Pack3+NDIS Hot Fix」が適用されていること。

Linux：対応バージョン：カーネル2.4.x

動作確認済み

- ・ Turbo Linux7.0
- ・ RedHat 7.1

ドライバインストール用マニュアル

...FXP_4TX¥LINUX¥readme

ロードバランシングソフトインストールマニュアル

...FXP_4TX¥LINUX¥setupguide

4 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

FXP-4TXサーバ・アダプタ

ドライバCD-ROM 1枚

このユーザズマニュアル

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

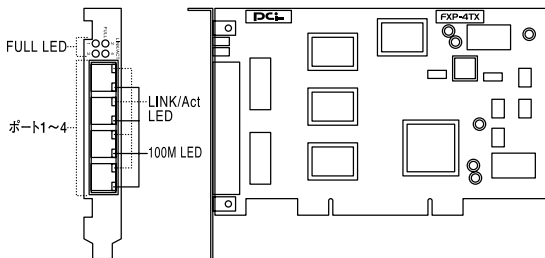


図1-1 FXP-4TX

- ・ポート1～4

100BASE-TX/10BASE-T接続用のRJ-45 STPポートです。

- ・LINK/ACT LED

このLEDが点灯しているときは、適切なデータ・リンクがあることを意味します。このLEDが点滅している場合はポートがデータの送受信を行っていることを意味します。

- ・100M LED

このLEDが点灯している場合はポートが100Mbpsで通信していることを意味します。

- ・FULL LED

LEDが点灯している場合はポートが全二重で通信していることを意味します。

- ・MACアドレスシール (アダプタ裏側に貼ってあります)

本製品の各ポートに固有のNode ID (MACアドレス) が記載されています。弊社のCompany IDである"0090CC"から始まる12桁の16進数です。

ロードバランシング&フォルトトレランス機能について

本製品をスイッチングハブに接続し、付属の「ロードバランシング&フォルトトレランス」ソフトウェアをインストールする事によりロードバランシング&フォルトトレランス機能を使用することが可能です。

ロードバランシング機能では本製品の複数のポートでセグメントを構成し最大800Mbps(100BASE-TX、全二重時)での送受信を行うことが可能です。サーバからの送信パケットは各ポートに均等に割り当てられ最大400Mbps(4ポート×100Mbps)で送信されます。サーバへの受信パケットはネットワークに接続されているクライアント等の機器の台数により使用されるポート数が異なります。クライアントが1台であれば1ポート(100Mbps)、2台であれば2ポート(200Mbps)と増加していき、4台以上であれば4ポート全て使用し、最大400Mbps(4ポート×100Mbps)で受信されます。これにより本製品をインストールしたサーバとスイッチングハブ間の転送速度のボトルネックを解消します。

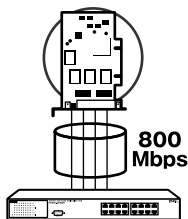


図1-2 ロードバランシング機能

フォルトトレランス機能はロードバランシング機能と同時に機能します。複数のポートで構成されたセグメントのあるリンクで障害が発生したときに、残りのリンクで通信を続行します。これによりネットワークの信頼性を高めることが可能となります。

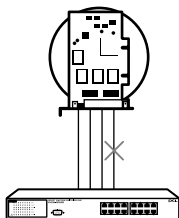


図1-3 フォルトトレランス機能

⚠ 注意

ロードバランシング&フォルトトレランス機能を使用する場合は、本製品を必ずスイッチングハブに接続してください。

本製品をNetBEUIプロトコルで使用した場合は、ロードバランシング機能は動作しません。NetBEUIプロトコルを使用した場合は1ポートのみでの通信となります。

ハードウェア・インストール

本章では、本製品のコンピュータへの取り付け方法およびネットワークへの接続方法について説明します。

1 コンピュータへの取り付け

注意

取り付けを開始する前に本製品が静電気で破損しないように、コンピュータのシャーシの金属部分を触るなどしてあらかじめ体内の静電気を放電しておいてください。また静電気を放電した後も、常にボードの端を持つようにし、ボード上の部品や金色の端子部分(エッジコネクタ)には触れないようにしてください。

1. コンピュータの電源を切り、次にコンピュータのカバーを外してください。カバーの外しかたについてはコンピュータのマニュアルを参照してください。
2. 空いているPCIスロットのカバーを外してください。

注意

本製品は、バスマスタ・スロットでのみ動作します。コンピュータ付属のマニュアルを参照し、バスマスタ・スロットを確認してください。

3. PCIスロットに本製品をしっかりと差し込んでください。
4. PCIスロットのカバーを固定していたネジで、本製品をコンピュータに固定してください。

2

2 ネットワークへの接続

本製品は100BASE-TX/10BASE-Tネットワークへの接続用にRJ-45 STPポートを4ポート装備しています。接続についての詳細は以下のセクションを参照してください。

100BASE-TX Fast Ethernetネットワークへの接続

本製品を100BASE-TX Fast Ethernetネットワークに接続するには、両端にRJ-45コネクタの付いたツイストペアカテゴリ5のストレートケーブルが必要です。ケーブルの最大長は100メートルです。

以下の手順にしたがって接続してください。

1. ケーブルの一端を本製品のいずれかのRJ-45 ポートに差し込みます。
2. ケーブルのもう一端を100BASE-TX Fast Ethernetハブに差し込みます。

10BASE-T Ethernet ネットワークへの接続

本製品を10BASE-T Ethernetネットワークに接続するには、両端にRJ-45コネクタの付いたツイストペアカテゴリ3またはカテゴリ5のストレートケーブルが必要です。ケーブルの最大長は100メートルです。以下の手順にしたがって接続してください。

1. ケーブルの一端を本製品のいずれかのRJ-45 ポートに差し込みます。
2. ケーブルのもう一端を10BASE-T Ethernet ハブに差し込みます。

3 ネットワークケーブルについて

100Mbpsでのネットワーク操作を確実にするには、ツイストペアカテゴリ5のケーブルを使用する必要があります。

10Mbpsでのネットワーク操作には、ツイストペアカテゴリ3以上のケーブルを使用してください。

本製品をハブに接続する場合は、ストレートタイプのツイストペアケーブルを使用してください。

ハブを使用せずに2台のコンピュータを直接接続する場合は、クロスケーブルを使用してください。

Windows NT4.0

本章では本製品をWindows NT4.0、環境で使用する場合のドライバのインストール方法について説明します。

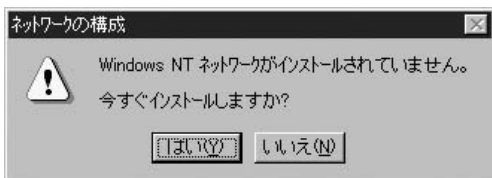
1 Windows NT4.0ドライバインストール

Windows NT4.0では、はじめてネットワークを設定する場合とすでにネットワークの設定を行ったことがある場合とでドライバのインストール方法が異なります。

はじめてネットワークの設定を行う場合

1. 本製品をコンピュータのPCIスロットにセットした状態で、コンピュータの電源を入れWindows NT4.0を起動します。
2. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と開きます。
3. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

4. 「Windows NTネットワークがインストールされていません。」メッセージが表示されます。[はい]をクリックします。



5. 「ネットワークセットアップ」ウィザードが表示されます。「ネットワークに接続」を選択して[次へ]をクリックします。



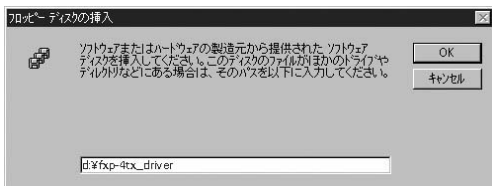
6. アダプタの検索の画面が表示されます。ここでは検索は行わないで[一覧から選択]をクリックします。



7. アダプタの選択の画面が表示されます。[ディスク使用]をクリックします。



8. 付属のCD-ROMディスクをCD-ROMドライブにセットします。ドライブのパスに「d:\fxp-4tx_driver」(CD-ROMドライブがDドライブの場合)と入力して[OK]をクリックします。



9. 「OEMオプションの選択」ウィンドウが表示されます。「PCI 4Port 10M/100M SERVER ADAPTER FXP-4TX」を選択し[OK]をクリックします。



10. 「ネットワークアダプタ」の「PCI 4Port 10M/100M SERVER ADAPTER FXP-4TX」がチェックされていることを確認して[次へ]をクリックします。



11. 必要なネットワークプロトコルをチェックして[次へ]をクリックします。



注意

以降の説明はTCP/IPプロトコルのみを選択した場合の説明です。必要なプロトコルについてはネットワーク管理者にご相談ください。

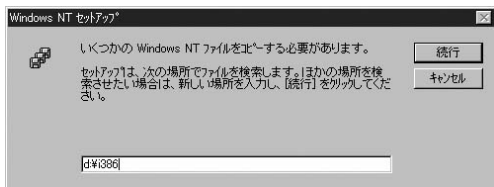
12. ネットワークサービスの追加画面が表示されます。追加が必要であれば「一覧から選択」をクリックして追加を行います。



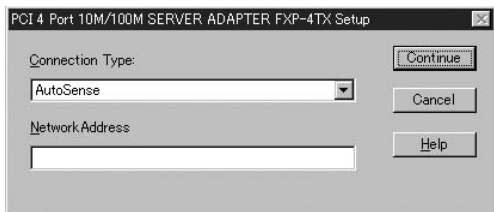
13. 「選択されたネットワークコンポーネントと...」が表示されます、[次へ]をクリックします。



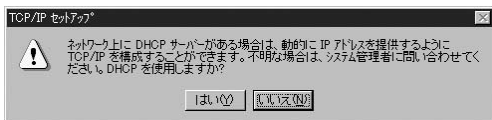
- 14.** ファイルの検索場所を入力する画面が表示されます。Windows NT4.0のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。d:¥ i386と入力し(CD-ROMドライブがD:ドライブの場合) [続行] をクリックします。



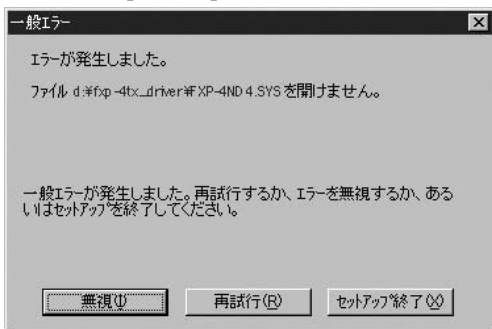
- 15.** FXP-4TXの設定画面が表示されます。「Connection Type」で転送速度を選択し [Continue] ボタンをクリックしてください。初期値は「AutoSense」に設定されています。各ポート用に4回表示されるので全てのポートを設定します。



16. DHCPサーバを使用するか確認する画面が表示されます。ネットワーク管理者に確認し、DHCPサーバを使用するのであれば[はい]をしないのであれば[いいえ]をクリックします。



17. 「d:\fxp-4tx_driver\FXP-4ND4.SYSを開けません」というエラーが表示されます。付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、[再試行]をクリックしてください。



18. DHCPサーバを使用するか確認する画面で[いいえ]をクリックした場合は、IPアドレスの入力画面が表示されます。IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス等必要な値を入力し[適用]をクリックします。

ネットワーク管理者に相談し、必要であればDNSやWINSアドレスの設定も行ってください。4ポート全ての設定が終了したら[OK]をクリックします。



注意

「少なくとも1つのアダプタカードに、空のプライマリWINSアドレスがあります。続行しますか？」が表示されたときは、不要なら[はい]必要なら[いいえ]をクリックしてください。WINSアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。

19. バインドの設定画面が表示されます。[次へ]をクリックします。



20. 「ネットワークを起動する準備が整いました。」のメッセージが表示されます。[次へ]をクリックします。



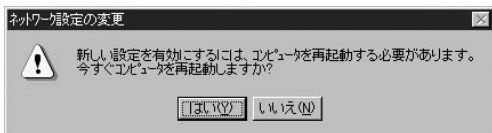
21. ワークグループ名を入力する画面が表示されます。ワークグループ名またはドメイン名を入力して[次へ]をクリックしてください。



22. 「このコンピュータにネットワークがインストールされました」が表示されます。[完了]をクリックします。

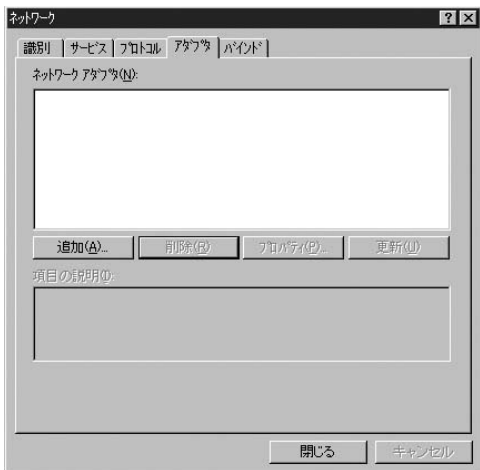


- 23.** 再起動を要求する画面が表示されます。CD-ROMを取り出してから、[はい]をクリックしてコンピュータを再起動します。



すでにネットワークの設定を行ったことがある場合

1. 「マイコンピュータ」 「コントロールパネル」を開きます。
2. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
3. 「ネットワーク」ウインドウが表示されます、[アダプタ] タブをクリックします。

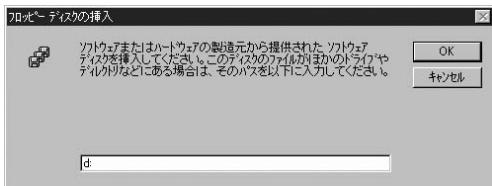


4. [追加]をクリックします。

5. アダプタのリストが表示されるので[ディスク使用]をクリックします。



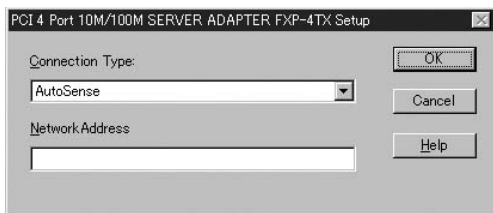
6. 付属のCD-ROMディスクをCD-ROMドライブにセットし、ドライブのパスにd:と入力して[OK]をクリックします。



7. 「OEM オプションの選択」ウィンドウが表示されます。「PCI 4Port 10M/100M SERVER ADAPTER FXP-4TX」を選択し [OK] をクリックします。



8. FXP-4TXの設定画面が表示されます。「Connection Type」で転送速度を選択し [OK] をクリックします。初期値は「AutoSense」に設定されています。各ポート用に4回表示されます、全てのポートを設定します。



⚠ 注意

「少なくとも1つのアダプタカードに、空のプライマリWINSアドレスがあります。続行しますか？」が表示されたときは、不要なら[はい]必要なら[いいえ]をクリックしてください。WINSアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。

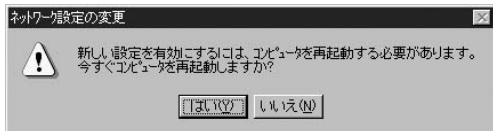
9. 「ネットワーク」ウィンドウに戻ります、[閉じる] をクリックします。



- 10.** TCP/IPプロトコルがインストールされているときは、IPアドレスの入力画面が表示されます。IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス等必要な値を入力し[適用]をクリックします。ネットワーク管理者に相談し、必要であればDNSやWINSアドレスの設定も行います。4ポート全ての設定が終了したら[OK]をクリックします。



- 11.** CD-ROMディスクを取り出してから、[はい]をクリックしてコンピュータを再起動します。



2 インストールの確認

ドライバのインストールが終了したら以下の手順でインストールが正常に終了したかを確認します。

1. 「スタート」「プログラム」「管理ツール」「Windows NT診断プログラム」を選択します。
2. 診断プログラムが起動します、[リソース]タブをクリックします。



3. [IRQ] をクリックします。本製品はリソース画面上では "FXP4TX" という名前で表示されます。いずれかの IRQ が割り当てられていることを確認します。



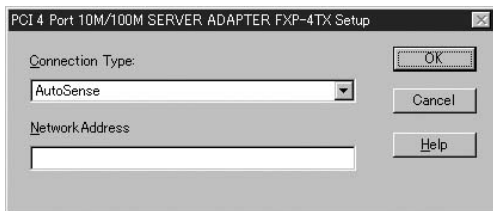
4. [I/Oポート] をクリックします。本製品はリソース画面上では "FXP4TX" という名前で表示されます。いずれかの I/Oポートが割り当てられていることを確認します。



3 通信速度の設定

本製品の各ポートの通信速度は、初期設定ではAutoNegotiation (AutoSense)に設定されています。この設定では、通信速度および通信モードをAutoNegotiation機能により自動認識します。通信速度設定を変更する場合は以下の手順で設定を行ってください。

1. [マイコンピュータ]をダブルクリックしそこから[コントロールパネル]をダブルクリックします。
2. [ネットワーク]をダブルクリックします。
3. [アダプタ]タブをクリックします。
4. 変更したいポートを選択して[プロパティ]をクリックします。
5. [Connection Type]を設定します。以下の設定が可能です。



- 100Base-Tx Full Duplex通信速度が100BASE-TX/全二重に固定となります。
- 100Base-Tx Half Duplex通信速度が100BASE-TX/半二重に固定となります。
- 10Base-T Full Duplex通信速度が10BASE-T/全二重に固定となります。
- 10Base-T Half Duplex通信速度が10BASE-T/半二重に固定となります。
- AutoSenseAutoNegotiation 機能により通信速度 (100BASE-TX/10BASE-T) および通信モード (全二重/半二重) が自動認識されます。

6.[OK] をクリックします。

7.[閉じる] をクリックします。コンピュータを再起動するよう指示されます。[はい] をクリックしてコンピュータを再起動します。

4 ドライバの削除

本製品のドライバを削除する場合は以下の手順で実行してください。

注意

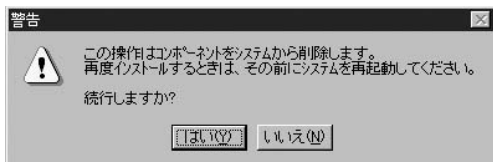
「ロードバランシング&フォルトトレランス」ソフトウェアをインストールしている場合は、「ソフトウェアの削除」の手順で、先にソフトウェアの削除を行ってください。

1. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と開きます。
2. 「ネットワーク」をダブルクリックします。
3. 「ネットワーク」ウィンドウが表示されます、[アダプタ]タブをクリックします。

4. ネットワークアダプタのリストから「PCI 4Port 10M/100M SERVER ADAPTER FXP-4TX」を選択して[削除]をクリックします。

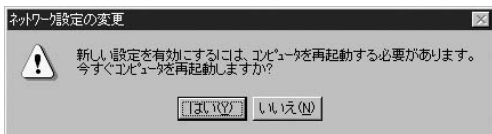


5. 削除の警告画面が表示されます、[はい]をクリックして続行します。4ポート全てを削除します。



6. [閉じる] をクリックします。

7. [はい] を選択してコンピュータを再起動します。



ロードバランシング&フォルトトレランス ソフトウェアのインストール

本製品のロードバランシング&フォルトトレランス機能を使用するには、付属のドライバCD-ROMから「ロードバランシング&フォルトトレランス」ソフトウェアをインストールする必要があります。

「ロードバランシング&フォルトトレランス」ソフトウェアを使用するには、以下の環境が必要です。

注意

NetBEUIプロトコルによるロードバランシング・フォルトトレランス機能は対応しません。

ソフトウェア環境

- ・ Windows NT4.0が正常に動作していること。
- ・ 「Service Pack6」以上、または「Service Pack3+NDIS Hot Fix」が適用されていること。
- ・ 本製品のドライバが正常にインストールされていること。

ネットワークハードウェア環境

- ・スイッチングハブ(弊社型番FHSW-1616NR、FHSW-2424NR、等。Trunk帯域800Mbps以上推奨)

FHSW-1616NR/FHSW-2424NRを使用する場合は、Trunk接続するポート以外に本製品を接続してください。

以上の環境が準備できているか確認してください。

ソフトウェアのインストール

1. 本製品のポート1のみをスイッチングハブに接続します。
2. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」を開きます。
3. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
4. 「ネットワーク」ウインドウが表示されます、[プロトコル] タブをクリックします。

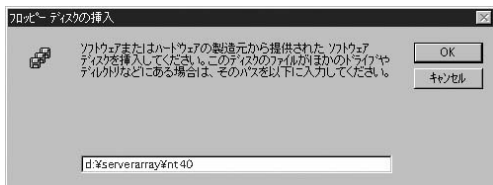


5. [追加] ボタンをクリックします。

6. プロトコルのリストが表示されます、[ディスク使用] ボタンをクリックします。



7. 付属のドライバCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、ドライブのパスに「d:\serverarray\nt40」(CD-ROMドライブがDドライブの場合)と入力して[OK]をクリックします。



8. 「OEMオプションの選択」ウィンドウが表示されます。「Planex Load Balancing and Fail over Software」を選択し[OK]をクリックします。



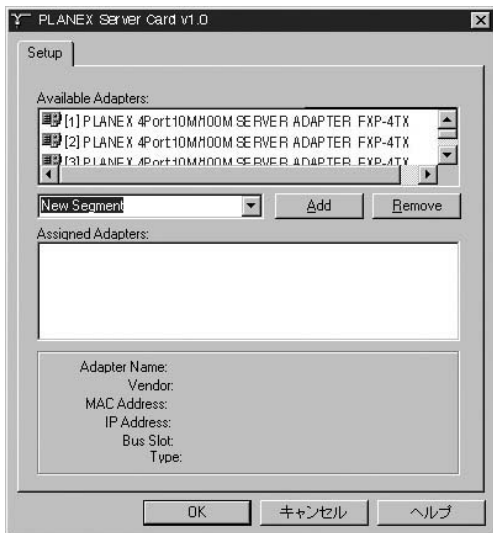
システムに、「SNMP サービス」がインストールされていない場合は、ここで以下のメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



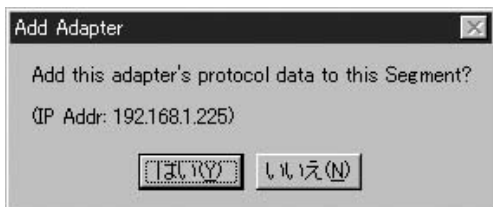
注意

本製品はSNMPには対応していません。

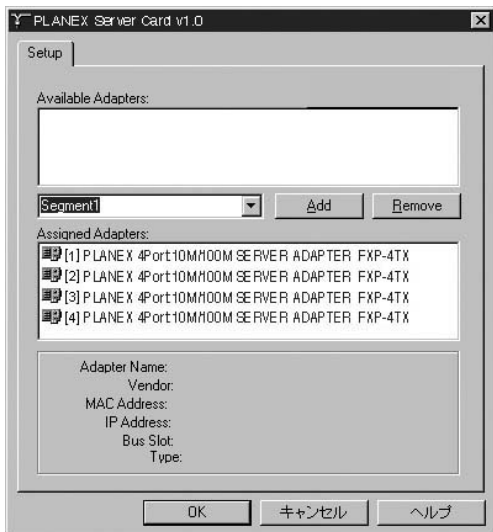
9. 「Setup」ウィンドウが表示されます。「New Segment」と表示されているところに任意のセグメント名を入力してください。



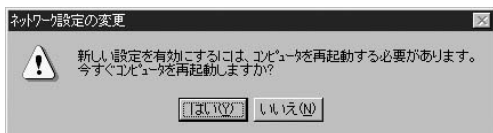
10. 「Available Adapters」からセグメントに追加するアダプタを選択して[Add]をクリックします。確認のメッセージが表示されます、[はい]をクリックします。



11. 複数のセグメントを構成することも可能です。全てのアダプタをいずれかのセグメントに追加し、[OK]をクリックしてください。(構成は後で変更可能です。)



12. ファイルのコピーが終了すると、「ネットワーク」ウィンドウに戻ります。[閉じる]をクリックします。
13. CD-ROMディスクを取り出してから、[はい]をクリックしてコンピュータを再起動してください。



14. 本製品の残りのポートをスイッチングハブに接続してください。

注意

セグメント構成後は、本製品の各ポートは「Planex Virtual Adapter」という名前で各プロトコルから認識されます。



6 ステータスの確認および詳細設定

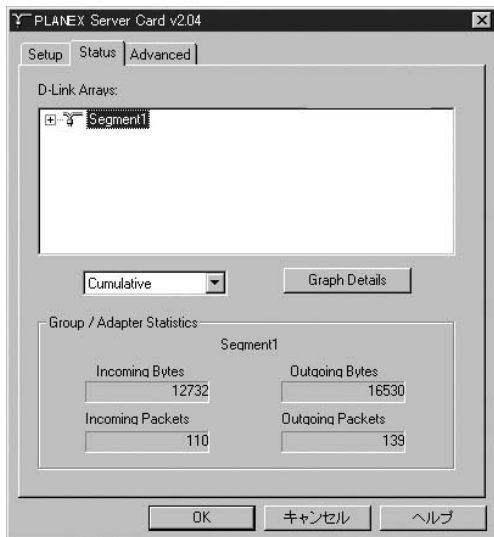
「ロードバランシング&フォルトトレランス」ソフトウェアを使用して各ポートのステータスを確認することが可能です。

1. [マイコンピュータ] [コントロールパネル] [ネットワーク]をクリックします。
2. [プロトコル]タブをクリックして、[Planex Transport]を選択し、[プロパティ]をクリックします。




3. 「Setup」画面が表示されるので、[Status]タブをクリックします。

4. 以下のような「Status」画面が表示されます。




各ポートのステータス確認


セグメント名の左の「+」をクリックすると各ポートのアイコンが表示されます。各ポートのステータスはアイコンの色および状態によって表されます。

 緑色のアイコン


ポートは現在正常に動作しています。また、このポートではこれまでに一度もエラーが発生していません。

 緑色のアイコンに「x」マーク


ポートは現在ダウン状態です。このポートで発生した初めてのエラーです。

 黄色のアイコン

ポートは現在は正常に動作していますが、このポートでは過去にエラーが発生したことがあります。

 黄色のアイコンに「x」マーク

ポートは現在ダウン状態です。また、このポートでは過去に複数回のエラーが発生しています。

 赤色のアイコン

ポートは現在無効になっています。これは、このポートで、1時間に3回以上(初期値)のエラーが発生していることを意味します。

ポートのステータスの変化はWindows NTのイベントログに記録されます。詳しくは付録C「Windows NTのイベントログメッセージ」を参照してください。

統計情報の表示

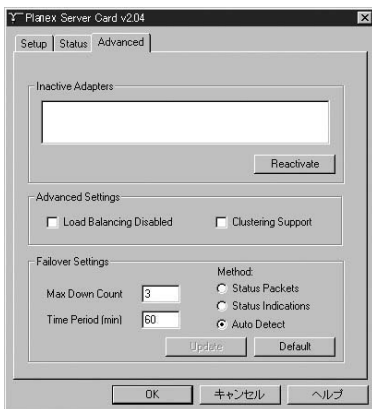
各ポートのアイコンまたはセグメント名をクリックして選択すると、ステータス画面の下部にポートまたはセグメントの統計情報が表示されます。統計情報には、受信バイト数/パケット数、送信バイト数/パケット数があります。また、ステータス画面中央のメニューで表示モードをCumulative(累積表示)とPer Second(毎秒表示)に切りかえることが可能です。

詳細設定

[Advanced]タブをクリックすると詳細設定画面が表示されます。ここでは、無効になったポートを再度有効にすることと、ポートが無効になるまでの条件を設定することが可能です。

無効になっているポートがある場合は「Inactive Adapters」に表示されます。有効にしたいポートを選択して、[Reactivate]をクリックしてください。

「Advanced Settings」では以下の項目が設定可能です。



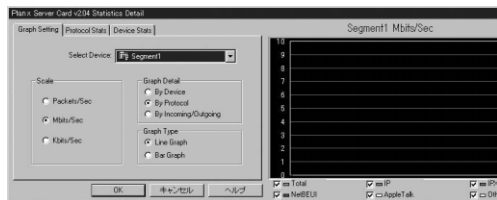
- Load Balancing Disabled このチェックボックスにチェックマークを入れるとロードバランシング機能を無効にします。データの送信はプライマリのみを使って行われます。
- Clustering Support このチェックボックスにチェックマークを入れると、マイクロソフトクラスタサーバに対応します。
- Max Down Count ポートが無効になるまでのエラーの回数を設定します。次の「Time Period」で設定した時間内にここで設定した回数のエラーが発生するとそのポートは無効となります。初期設定値は3(回)です。
- Time Period[min] 「Max Down Count」により、ポートが無効になるまでの時間を設定します。ここで設定した時間内に「Max Down Count」で設定した回数のエラーが発生するとそのポートは無効になります。初期設定値は60(分)です。

Method エラーの検出方法を設定します。
「Status Packets」では、あるポートから別のポートにステータスパケットを送信し、そのパケットが受信されればそのポートは正常であると判断します。
「Status Indications」では、NDIS4.0 の機能であるステータス報告機能を使用します。
「Auto Detect」では、起動時に「Status Packets」と「Status Indications」から最適な方法を自動選択します。
設定を変更したら、[Update] ボタンをクリックしてください。この時点で変更が有効となります。コンピュータを再起動する必要はありません。また、コンピュータを再起動した後も設定は保持されます。[Default] ボタンをクリックすると設定を初期状態に戻すことが可能です。[Default] ボタンをクリックした後に [Update] ボタンをクリックしてください。

グラフ表示

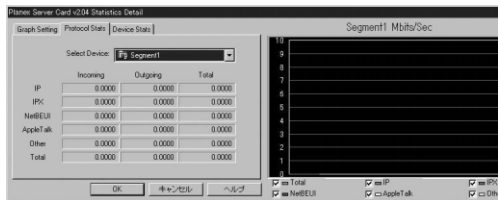
[Graph Details] をクリックすると統計情報をグラフで表示します。

[Graph Setting] タブでは、グラフの表示形式を設定します。



- Select Device グラフ表示を、コンピュータ、セグメント別、アダプタ別に表示を切りかえます。
- Scale 表示スケールを、Packets/Sec(パケット/秒)、Mbits/Sec(メガビット/秒)、Kbits/Sec(キロビット/秒)のいずれかに設定できます。
- Graph Detail 現在選択されている機器の合計スループットをどの項目別に表示するかを設定することができます。By Device(機器別)、By Protocol(プロトコル別)、By Incoming/Outgoing(受信/送信別)に切りかえることができます。
- Graph Type Line Graph(折れ線グラフ)、Bar Graph(棒グラフ)のいずれかの形式でリアルタイム表示します。

[Protocol Stats] (プロトコル統計) タブでは、使用しているプロトコルの統計情報を数値とグラフで表示します。グラフ表示では合計のスループット統計のほか、IP、IPX、NetBEUI、Apple Talkの各プロトコル別に表示できます。



Select Device …………… 数値表示をコンピュータ、セグメント別、アダプタ別に切りかえます。

[Device Stats] (機器統計) タブでは、アダプタ別に表示します。



Select Device …………… 数値表示をアダプタ別に切りかえます。

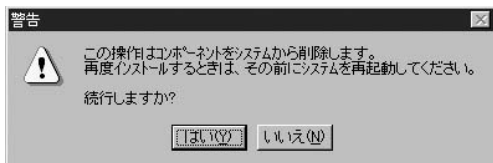
7 ソフトウェアの削除

「ロードランシング&フォルトトレランス」ソフトウェアを削除する場合は、以下の手順で行ってください。

1. 本製品のポート1 のみを残して、他のポートはスイッチングハブから外します。
2. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」を開きます。
3. 「ネットワーク」をダブルクリックします。
4. 「ネットワーク」が表示されます、[プロトコル]タブをクリックします。
5. 「Planex Transport」を選択し、[削除]をクリックします。



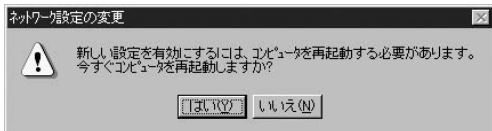
6. 削除の警告メッセージが表示されます、[はい]をクリックします。



7. [閉じる]をクリックします。



8. [はい]をクリックしてコンピュータを再起動します。



Windows 2000

1 Windows 2000 ドライバインストール

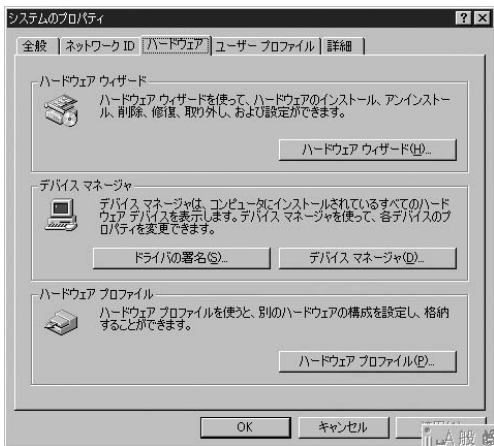
ドライバのインストール

1. 本製品をコンピュータのPCIスロットにセットし、コンピュータの電源を入れます。
2. OS起動時に本製品が自動で認識され、ドライバがインストールされます。

本製品付属のドライバCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

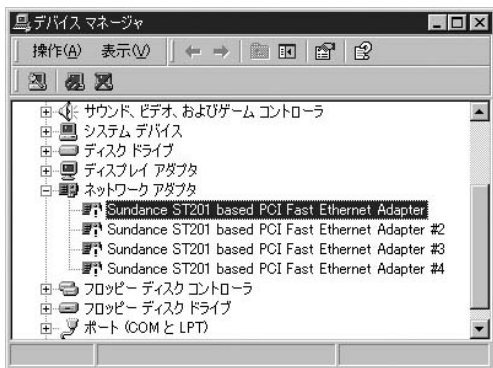
3. [スタート] [設定] [コントロールパネル]をクリックします。

4. [システム]をダブルクリックします。「システムのプロパティ」が表示されます。



- 1 [ハードウェア]をクリックします。
- 2 [デバイスマネージャ]をクリックします。

5. 「デバイスマネージャ」が表示されます。[ネットワークアダプタ]に「！」マークのついた[Sundance ST201 based PCI Fast Ethernet Adapter]が4つ表示されます。



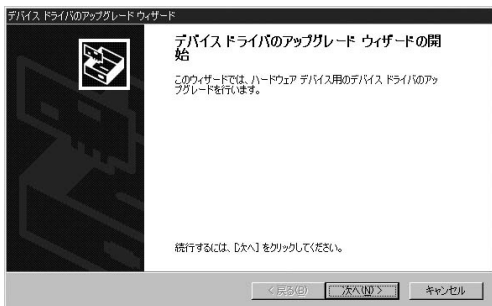
- 1) 「！」マークのついた[Sundance ST201 based PCI Fast Ethernet Adapter]をダブルクリックします。

6. 「Sundance ST201 based PCI Fast Ethernet Adapterのプロパティが表示されます」

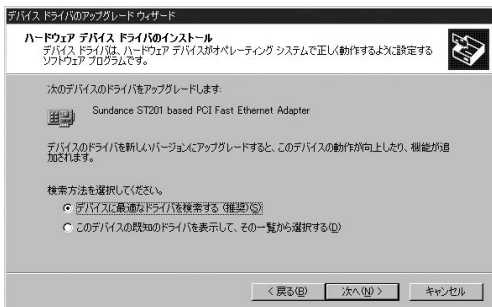


- 1 〔 ドライバ 〕タブをクリックします。
- 2 〔 ドライバの更新 〕をクリックします。

7. 「デバイスドライバアップグレードウィザードの開始」が表示されます。[次へ]をクリックします。

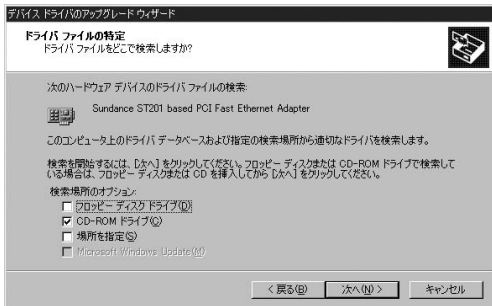


8. 「ハードウェア デバイス ドライバのインストール」が表示されます。



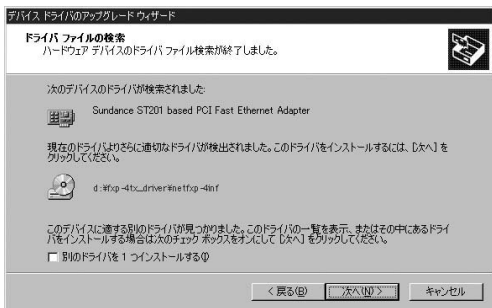
- 1 〔デバイスに最適なドライバを検索する〕にチェックを入れます。
- 2 〔次へ〕をクリックします。

9. 「ドライバファイルの特定」が表示されます。



- 1) [CD-ROMドライブ] だけチェックを入れます。他のチェックは外します。
- 2) [次へ] をクリックします。

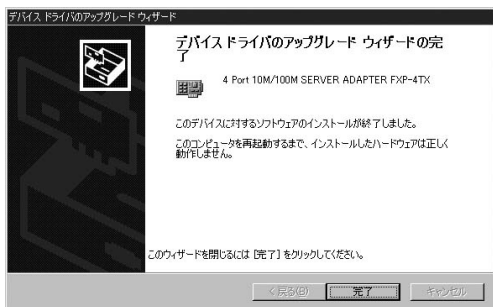
10. 「ドライバファイルの検索」が表示されます。[次へ]をクリックします。



11. 「デジタル署名が見つかりませんでした」が表示されます。
[はい] をクリックします。



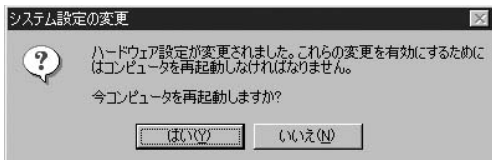
12. 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」が表示されます。
[完了] をクリックします。



13. 「4Port 10M/100M SERVER ADAPTER FXP-4TXのプロパティ」が表示されます。[閉じる]をクリックします。



14. 「システム設定の変更」が表示され、再起動を求められます。ここでは[いいえ]をクリックします。再起動は4つすべての「Sundance ST201 based PCI Fast Ethernet Adapter」を「4Port 10M/100M SERVER ADAPTER FXP-4TX」に更新してから再起動します。



- 15.** 表示されている残り3つの「！」マークのついた[Sundance ST201 based PCI Fast Ethernet Adapter]も上記5 14を繰り返しドライバの更新をします。

残り3つの「！」マークのついた[Sundance ST201 based PCI Fast Ethernet Adapter]のドライバの更新作業では、「ドライバファイルの検索」画面で「c:\\$winnt\$inf\$oem0.inf」のようにドライバファイルがCD-ROM内ではなく、ハードディスク内のファイルが表示されますが異常ではありません。そのままドライバの更新を続行してください。



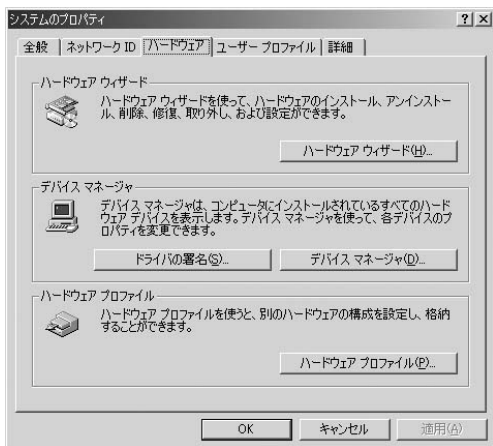
- 16.** 4つすべての「Sundance ST201 based PCI Fast Ethernet Adapter」の更新が終了したら、OSの再起動をします。

ドライバのインストールはこれで完了です。

2 インストールの確認

ドライバのインストールが完了したら、以下の手順でインストールが正常に完了したかを確認します。

1. [スタート] [設定] [コントロールパネル]をクリックします。
2. [システム] をダブルクリックします。「システムのプロパティ」が表示されます。



- 1 [ハードウェア] タブをクリックします。
- 2 [デバイスマネージャ] をクリックします。

3. 「デバイスマネージャ」が表示されます。

[ネットワークアダプタ] をダブルクリックします。

「PCI 4Port 10M/100M SERVER ADAPTER FXP-4TX」

「PCI 4Port 10M/100M SERVER ADAPTER FXP-4TX #2」

「PCI 4Port 10M/100M SERVER ADAPTER FXP-4TX #3」

「PCI 4Port 10M/100M SERVER ADAPTER FXP-4TX #4」

が表示されているか確認します。



注意

ネットワークアダプタの下に「PCI 4Port 10M/100M SERVER ADAPTE FXP-4TX」「PCI 4Port 10M/100M SERVER ADAPTE FXP-4TX #2」「PCI 4Port 10M/100M SERVER ADAPTER FXP-4TX #3」「PCI 4Port 10M/100M SERVER ADAPTER FXP-4TX #4」が表示されない、またはアイコンに「！」のマークが表示されるときはドライバのインストールが正常に終了していません。「ドライバの削除」の手順に従いドライバを削除してから、再度ドライバをインストールしてください。

4. [PCI 4Port 10M/100M SERVER ADAPTER FXP-4TX] の名前をクリックし、[操作] [プロパティ] をクリックします。



1) 「デバイスの状態」に「このデバイスは正常に動作しています」と表示されていればインストールは成功です。

[リソース] タブをクリックすると、アダプタが使用しているリソース (I/Oポート、IRQ) を確認できます。



3 通信速度の設定

本製品の各ポートの通信速度は、初期設定ではAutoNegotiation(AutoSense)に設定されています。この設定では、通信速度および通信モードをAutoNegotiation機能により自動認識します。通信速度設定を変更するときは以下に手順で設定を行ってください。

1. [スタート] [設定] [コントロールパネル] をクリックします。
2. [ネットワークとダイヤルアップ接続] をダブルクリックします。
3. 通信速度を変更する [ローカルエリア接続] をダブルクリックします。

4. 「ローカルエリア接続のプロパティ」が表示されます。[構成] をクリックします。



5. 「PCI 4Port 10M/100M SERVER ADAPTER FXP-4TX のプロパティ」が表示されます。[詳細設定] タブをクリックします。



6. 「プロパティ」から「Connection Type」をクリックします。
「値」を設定します。



- 100Base-TX Full Duplex ……通信速度が100Base-TX/全二重に固定されます。
- 100Base-TX Half Duplex ……通信速度が100Base-TX/半二重に固定されます。
- 10Base-T Full Duplex ……通信速度が10Base-T/全二重に固定されます。
- 10Base-T Half Duplex ……通信速度が10Base-T/半二重に固定されます。
- AutoSense ……AutoNegotiation機能により、通信速度が(100Base-TX/10Base-T)および通信モード(全二重/半二重)が自動認識されます。

7. [OK]をクリックして、すべてのウィンドウを閉じます。

以上で通信速度の設定は完了です。

4 IEEE 802.1Q VLANの設定

本製品でサポートされるIEEE 802.1Q VLANタグ機能と設定手順について説明します。

本製品はIEEE 802.1Q VLAN規格に対応しており、VLANタグを使用したネットワーク環境下で使用することができます。IEEE 802.1Q VLANでは、パケットにポート番号(VLANタグ)を追加してグループを指定します。これによりネットワーク機器がネットワーク内で別々の物理セグメントに属していても、同じポート番号であれば同一の物理セグメント上にあるかのように互いに通信を行うことが可能です。

VLAN機能では物理的にネットワーク機器の移動、接続先のポートを変更せずに設定のみでVLANグループ間を移動することが可能なため、より簡単にネットワーク管理が行えるようになります。

1. [スタート] [設定] [コントロールパネル]をクリックします。
2. [ネットワークとダイヤルアップ接続]をダブルクリックします。
3. 設定を変更する「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。
4. ネットワークに接続されているときは、「状態」が表示されます。[全般]のタブの[プロパティ]をクリックします。

5. [ローカルエリア接続のプロパティ]が表示されます。[構成]をクリックします。



6. 「4Port 10M/100M SERVER ADAPTER FXP-4TXのプロパティ」が表示されます。[詳細設定]タブをクリックします。

7. 「プロパティ」の項目にある、[802.1Q/1P VLAN tagging] をクリックし「値」を [Enabled] に設定します。



8. 「プロパティ」の項目にある、[VLAN ID] をクリックし「値」に任意のVLAN IDを入力します。(入力できるIDは、0から4094までです。)



9. [OK] をクリックしてウィンドウをすべて閉じます。

以上で、IEEE 802.1Q VLAN の設定は完了です。

5

IEEE 802.1p プライオリティサービス (Quality of Service) の設定

本製品でサポートされる IEEE 802.1p プライオリティサービス (QoS) 機能と設定手順について説明します。

本製品は IEEE 802.1p プライオリティサービス (QoS) に対応しています。これにより VLAN ごとに優先順位をつけることができます。ネットワーク上で QoS を有効にするには、他のネットワーク機器も QoS に対応している必要があります。それぞれのネットワーク機器のマニュアルなどを参照の上、優先度 (プライオリティ) タグ付きフレームを処理するための設定オプションをそれぞれご確認ください。

QoS 機能を使用するには「QoS パケット スケジューラ」と「QoS 受付制御」がインストールされている必要があります。「QoS 受付制御」については Windows 2000 の「ヘルプ」を参照ください。

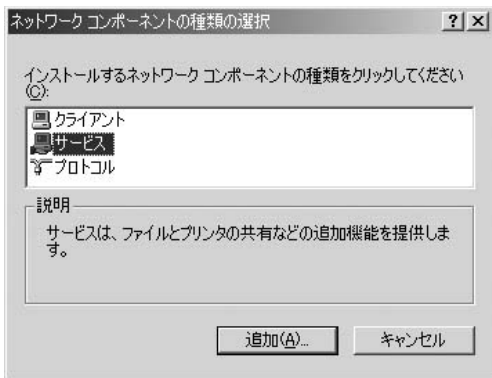
1. [スタート] [設定] [コントロールパネル] をクリックします。
2. [ネットワークとダイヤルアップ接続] をダブルクリックします。

4

3. 設定を変更する「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。
4. ネットワークに接続されているときは、「状態」が表示されます。[全般]のタブの[プロパティ]をクリックします。
5. [ローカルエリア接続のプロパティ]が表示されます。[インストール]をクリックします。



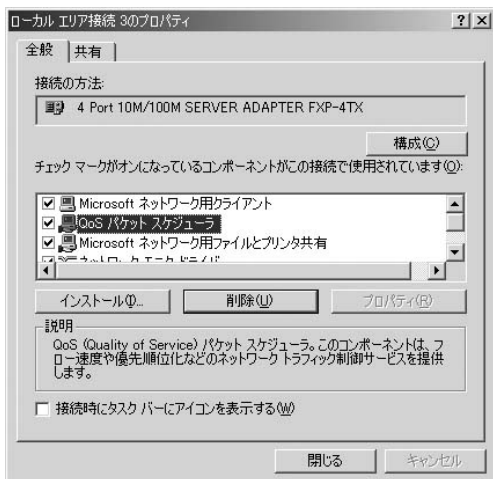
6. 「ネットワークコンポーネントの種類を選択」が表示されます。
[サービス] をクリックし、[追加] をクリックします。



7. 「ネットワークサービスの選択」が表示されます。[QoS パケットスケジューラ] をクリックし、[OK] をクリックします。



8. 「ローカルエリア接続のプロパティ」に「QoS パケットスケジューラ」が追加されます。[閉じる] をクリックします。



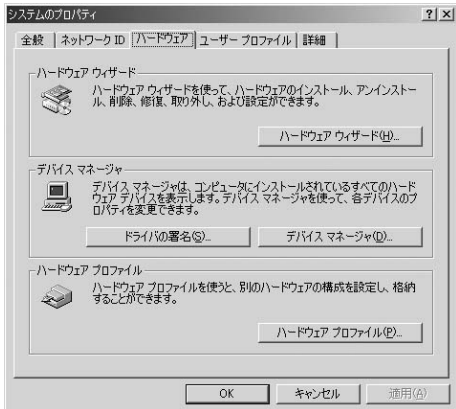
6 ドライバの削除

本製品のドライバを削除するときは以下の手順で行ってください。

▲ 注意

「ロードバランシング&フォルトトレランス」ソフトウェアをインストールしているときは、「ソフトウェアの削除」の手順で、先にソフトウェアの削除を行ってください。

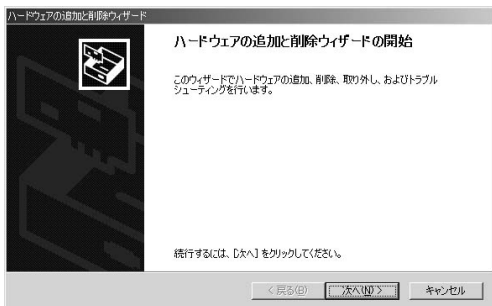
1. [スタート] [設定] [コントロールパネル]をクリックします。
2. [システム]をダブルクリックします。「システムのプロパティ」が表示されます。



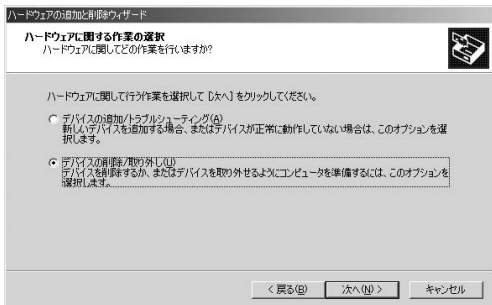
- 1 [ハードウェア]タブをクリックします。
- 2 [ハードウェアウィザード]をクリックします。

3. 「ハードウェアの追加と削除ウィザードの開始」が表示されます。

[次へ]をクリックします。

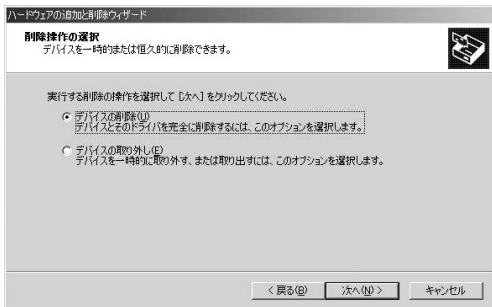


4. 「ハードウェアに関する作業の選択」が表示されます。



- 1) 「デバイスの削除/取り外し」をチェックします。
- 2) [次へ]をクリックします。

5. 「削除操作の選択」が表示されます。



- 1) 「デバイスの削除」をチェックします。
- 2) [次へ]をクリックします。

6. 「削除するデバイスを選択してください」が表示されます。



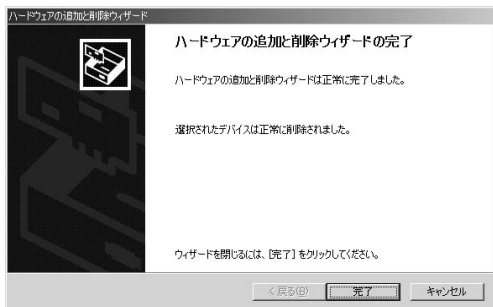
- 1) リストから「4 Port 10M/100M SERVER ADAPTER FXP-4TX」をクリックします。
- 2) [次へ]をクリックします。

7. 「デバイスの削除」が表示されます。



- 1) 「はい、このデバイスを削除します」をチェックします。
- 2) [次へ]をクリックします。

8. 「ハードウェアの追加と削除ウィザードの完了」が表示されます。[完了]をクリックします。



9. 「システムのプロパティ」の[ハードウェア]タブが表示されます。[ハードウェアウィザード]をクリックして、上記3~8を繰り返し行い、本製品のポートをすべて削除します。
10. コンピュータの電源を切り、本製品をコンピュータから取り外してください。

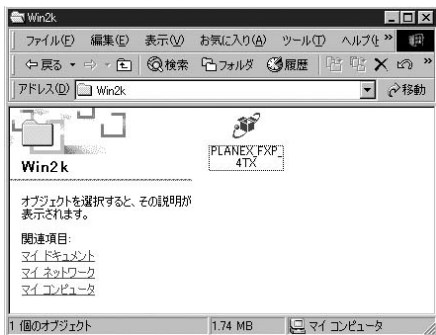
以上でドライバの削除は完了です。

ロードバランシング&フォルトトレランス機能について

⚠ 注意

NetBEUIプロトコルによるロードバランシング・フォルトトレランス機能は対応しません。

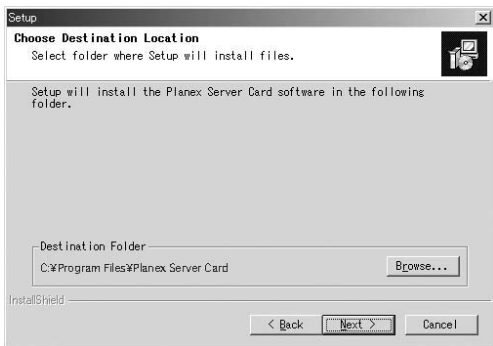
1. 本製品付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
2. [マイコンピュータ] [FXP_4TX] [ServerArray] 「Win2k」をダブルクリックします。
3. [PLANEX_FXP_4TX]をダブルクリックします。



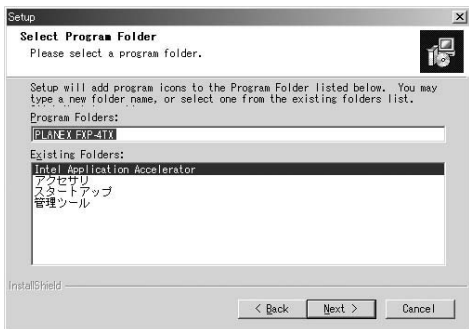
4. 「setup」が表示されます。[Next]をクリックします。



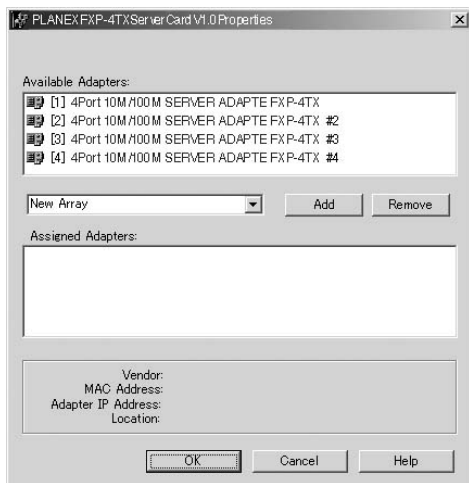
5. 「Choose Destination Location」が表示されます、[Next]をクリックします。



6. 「Select Program Folder」が表示されます、[Next]をクリックします。

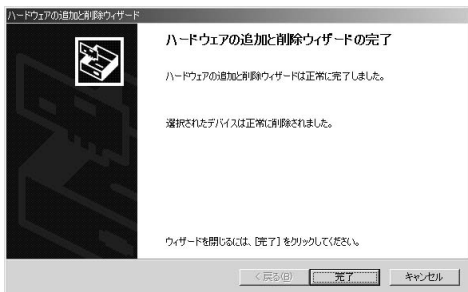


7. 「PLANEX FXP-4TX Server Card V1.0 Properties」が表示されます。



- 1) 「New Array」をクリックし、任意の名前を入力します。
(例: Array1)
- 2) アレイに含めるアダプタを「Available Adapters」から選択し、[Add]をクリックします。

8. 「Add Adapter」が表示されます。選択されたアダプタのIPをプライマリとして登録するときは[はい]をクリックします。プライマリとして登録されたIPが、アレイのIPになります。別のアダプタに登録されたIPをプライマリにするときは[いいえ]をクリックします。



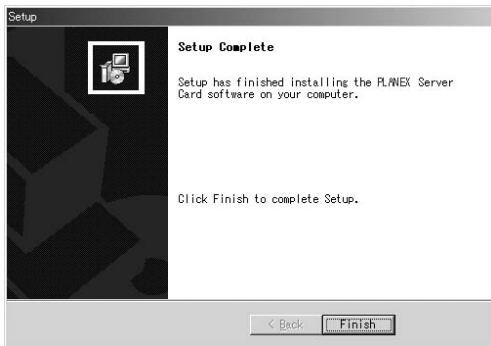
注意

表示されているアダプタは、すべて何らかのアレイに割り当てる必要があります。いずれか特定のアダプタでロードバランシング、フォールトトレランスを使用したくないときは別のアレイに登録します。

9. すべてのアダプタの登録が終了したら、[OK]をクリックします。



10. 「Setup Complete」が表示されます。「Finish」をクリックします。

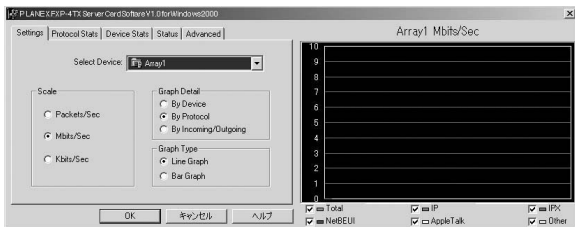


以上でソフトウェアのインストールは完了です。

1. [スタート] [プログラム] [W2K] [PLANEX FXP-4TX Server Card Software] をクリックします。
2. 「PLANEX Server Card Software」が表示されます。

統計情報の表示と詳細設定

[Settings] タブをクリックすると、グラフの設定画面が表示されます。ここでは表示したい項目や表示方法の変更が行えます。



- Select Device …… グラフ表示を、コンピュータ、セグメント別、アダプタ別に表示を切りかえます。
- Scale …… 表示スケールをPacket/Sec(パケット/秒)、Mbits/Sec(メガビット/秒)、Kbits/Sec(キロビット/秒)のいずれかに設定できます。
- Graph Detail …… 現在選択されている機器の合計スループットをBy Device(アダプタ別)、By Protocol(プロトコル別)、By Incoming/Outgoing(受信/送信別)の、どの項目別に表示するかを設定できます。

Graph Type …… グラフの種類を、Line Graph(折れ線グラフ)、Bar Graph(棒グラフ)のいずれかを設定できます。

[Protocol Stats] タブをクリックすると、プロトコル別の受信/送信/合計詳細情報を表示できます。


Select Device …… 詳細情報表示を、コンピュータ、セグメント、アダプタごとのプロトコル別情報の表示を切りかえます。

[Device Stats] タブをクリックすると、コンピュータ、セグメント、アダプタごとの詳細情報を表示できます。


Select Device …… 詳細情報表示を、コンピュータ、セグメント、アダプタごとの受信/送信/合計詳細情報に切りかえます。

[Status] タブをクリックすると、現在のアダプタの状態を表示します。


各ポートのステータスはアイコンの色および状態によって表されます。

 緑色のアイコン


ポートは現在正常に動作しています。また、このポートではこれまでに一度もエラーが発生していません。

 緑色のアイコンに「x」マーク


ポートは現在ダウン状態です。このポートで発生した初めてのエラーです。

 黄色のアイコン

ポートは現在は正常に動作していますが、このポートでは過去にエラーが発生したことがあります。

 黄色のアイコンに「x」マーク

ポートは現在ダウン状態です。また、このポートでは過去に複数回のエラーが発生しています。

 赤色のアイコン

ポートは現在無効になっています。これは、このポートで、1時間に3回以上(初期値)のエラーが発生していることを意味します。

Reactivate……………ダウン状態のアダプタを有効にすることができます。有効にしたいポートを選択して、[Reactivate]をクリックしてください。

[Advanced]タブをクリックすると、ロードバランス機能の有効/無効、マイクロソフトクラスタリングサーバーサポートの有効/無効、ポートが無効になるまでの条件を設定することができます。

Load Balancing Disabled・・・このチェックボックスにチェックを入れると、ロードバランス機能を無効にできます。

Clustering Support・・・このチェックボックスのチェックを入れると、本製品上でマイクロソフトクラスタサーバが使用できます。この機能を有効にするためには、マイクロソフトクラスタサーバが必要です。

Max Down Count・・・・・・ポートが無効になるまでのエラーの回数を設定します。次の「Time Period」で設定した時間内にここで設定した回数のエラーが発生するとそのポートは無効となります。初期設定値は3(回)です。

Time Period[min]…………「Max Down Count」により、ポートが無効になるまでの時間を設定します。ここで設定した時間内に「Max Down Count」で設定した回数のエラーが発生するとそのポートは無効になります。初期設定値は60(分)です。

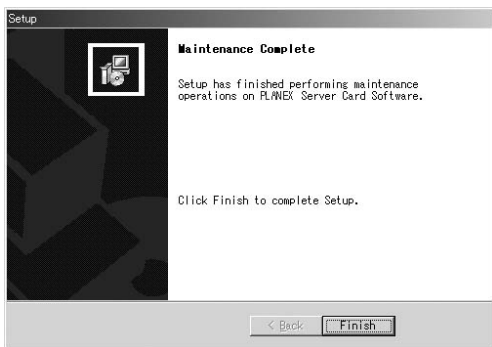
Method(検出方法)…………エラーの検出方法を設定します。「Status Packets」では、あるポートから別のポートにステータスパケットを送信し、そのパケットが受信されればそのポートは正常であると判断します。「Status Indications」では、NDIS4.0 の機能であるステータス報告機能を使用します。「Auto Detect」では、起動時に「Status Packets」と「Status Indications」から最適な方法を自動選択します。

9 ソフトウェアの削除

1. 本製品付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
2. [マイコンピュータ] [FXP-4TX] [ServerArray] [Win2k]をダブルクリックします。
3. [PLANEX FXP_4TX]をダブルクリックします。
4. 「Confirm File Deletion」が表示されます。[OK]をクリックします。



5. 「Maintenance Complete」が表示されます。[Finish]をクリックします。



以上でソフトウェアの削除は完了です。

トラブルシューティング

1 ここでは本製品のインストール時に発生する代表的な問題点とその対応方法について説明します。

ドライバインストール時に本製品が認識されない。

本製品がコンピュータのPCI スロットにしっかりとインストールされているか確認してください。

本製品をインストールしたPCI スロットがPCI Rev.2.1 バスマスタに対応しているか確認してください。

本製品を別のPCI スロットにインストールしてみてください。

Link LED が点灯しない。

ドライバのインストールが正常に終了し、コンピュータとハブの両方の電源が入っているにも関わらずアダプタ、ハブ両方のLink LED が点灯しないときは、ネットワークケーブルまたはケーブル接続の不良が考えられます。以下の点をご確認ください。

ネットワークケーブルがアダプタ、ハブ双方にしっかりと接続されているか確認してください。

クロスケーブルを使用していないか確認してください。ネットワークに接続するためにはストレートケーブルを使用する必要があります。

他のネットワークに正常に接続できている機器とケーブルを交換し、ケーブルが不良でないか確認してください。

ドライバのインストールが正常に終了し、Link LED が点灯しているのに通信できない。

コントロールパネルのネットワークで使用しているプロトコルやワークグループ（ドメイン）名等の設定を確認してください。

プロトコルとワークグループ（ドメイン）名はネットワーク上ですべて同じに設定する必要があります。また、TCP/IP プロトコルを使用している場合はIP アドレスを設定する必要があります。設定についてはネットワーク管理者に相談してください。

Windows NT が正常に起動しない、または動作中にハングアップする。

「ロードバランシング&フォルトトレランス」ソフトウェアをインストールした場合は、「Service Pack6」または、「Service Pack 3+NDIS Hot Fix」が適用されているか確認してください。Service Pack 適用後に何らかのネットワークサービスをインストールした場合は、必ず再度「Service Pack6」または、「Service Pack 3+NDIS Hot Fix」を適用してください。

「ロードバランシング&フォルトトレランス」ソフトウェアが動作しない。

本製品をスイッチングハブに接続しているか確認してください。

「ロードバランシング&フォルトトレランス」機能を使用する場合は本製品をスイッチングハブに接続する必要があります。

NetBEUI プロトコルを使用している場合は、ロードバランシング機能は動作しません。NetBEUI プロトコルを使用した場合は、1ポートのみでの通信となります。フォルトトレランス機能についてはNetBEUI プロトコルでも動作します。

Windows NTのイベントログ メッセージ

各ポートでエラーまたはステータスの変化が発生すると、以下のようなメッセージがWindows NTのイベントログに記録されます。

ポートがダウンしたとき

The adapter <アダプタ名> in <セグメント名> has lost network connectivity and has been removed from the Planex Array.

セグメントで正常なポートが1ポートのみになったとき

There is only one functioning adapter in <セグメント名> left.

セグメントの全てのポートがダウンしたとき

All adapters in <セグメント名> are down; therefore, users on this segment can no longer communicate to this computer.

ポートがダウン状態から正常状態に復帰したとき

The adapter <アダプタ名> in <セグメント名> has regained network connectivity and has been inserted back into the Planex Array.

ポートで複数回のエラーが発生し、ポートが無効になったとき
The adapter <アダプタ名> in <セグメント名> has lost network connectivity and has been removed from the Planex Array. The adapter has gone down <##> times in the past <##> minutes; therefore, the adapter will not be put back into the array .It is advisable that you investigate the cause of the lost connections and possibly replace the adapter or cable.

800Mbpsネットワーク

Trunk 機能を備えたスイッチングハブ(弊社製品型番 : FHSW-1616NR/FHSW-2424NR)で構成した800Mbpsラインと、サーバに装着したFXP-4TXのロードバランシング機能を組み合わせると、基幹ネットワークを全て800Mbps化(全二重時)することができます。既存のLANからの移行も簡単で、コストパフォーマンスの高いソリューションです。

仕様

< バスタイプ >

32 ビットPCI (バスマスタ) PCI Rev.2.1

< データ転送方式 >

バスマスタ方式

< アクセス方法 >

CSMA/CD 10/100Mbps

< 対応標準 >

IEEE 802.3 10BASE- T、IEEE802.3u 100BASE- TX

< 対応メディア >

UTP/STP ケーブル

< 10 Mbps >

カテゴリ3 以上

< 100 Mbps >

カテゴリ5

< ポート数 >

10/100Mbps RJ- 45 ポート × 4 ポート

< 設定方法 >

Autonegotiation

< LED 表示 >

LINK/ACT、100M、FULL

< 消費電力 >

最大6.5W

< 動作温度 >

0 ~ 40

< 動作湿度 >

35 ~ 80% (結露しないこと)

< 寸法 >

173 × 121mm

< EMI >

FCC Class B、CE Class B、VCCI Class B

E

仕様

MEMO

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいませようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

弊社へのお問い合わせ

弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPCIダイレクトまで。
ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

PCIダイレクト

<http://direct.planex.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。
ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

ご質問/お見積もりフォーム

<http://www.planex.co.jp/lan.htm>

技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

お問い合わせフォーム

<http://www.planex.co.jp/support/techform.htm>

受付：24時間

電話

フリーダイヤル：0120-415977

受付：月～金曜日、10～12時、13～17時

* 祝祭日および弊社規定の休業日を除く

FAX

ファクス番号：03-5614-1018

受付：24時間

お問い合わせ前のお願

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。

お客様のご協力をお願いいたします。

- ・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名(Windows XP/Meなど)
- ・ご利用のネットワークの環境(回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)
- ・ご質問内容(現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください)

その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

プラネックスコミュニケーションズ

<http://www.planex.co.jp/>

注)上記内容は2002年5月現在の情報です。内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行

FAX : 03-5614-1018

送信日 : _____

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名 Product name.	4ポート 10M/100M PCI サーバアダプタ
型番 Product No.	FXP-4TX
製造番号 Serial No.	

ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

ソフトウェア

ネットワークOS	バージョン
OS	バージョン

質問内容

保証規定

プラネックスコミュニケーションズ(株)は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

初期不良・修理依頼の手順(センドバック方式)

弊社では、センドバック(先に修理依頼品をお送りいただき、弊社より修理完了品をご返却する)方式による修理対応を行っております。

1. 本製品に故障・不具合が発生した場合、弊社サポートセンターまでご連絡ください。お送り先をご案内させていただきます。

プラネックスコミュニケーションズ(株) サポートセンター

フリーダイヤル・0120-415977 FAX・03-5614-1018

Web・<http://www.planex.co.jp/support/repair.htm>

2. ご案内に従って、修理依頼品を弊社リペアセンターまでお送りください。
(誠に勝手ながら、リペアセンターへお送りいただく際の送料はお客様のご負担をお願いいたします。)
3. 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

保証書

弊社の保証規定を必ずご覧ください

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日 より 1年間
製品名 Product name	4ポート 10M/100M PCI サーバアダプタ
型番 Product No.	FXP-4TX
製造番号 Serial No.	

フリガナ	
会社名	
部署名	
フリガナ	
お名前	
フリガナ	
ご住所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都道 府県
TEL	
FAX	
メールアドレス	

ご購入代理店名 所在地	
----------------	--

本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

